

歴史を重ねる。



「ふれあい橋」などが設置され、その周辺には、うるおいとやすらぎのある水辺空間として、町民の憩いの場となっています。また雨水ポンプ場の設置や、阿武隈川右岸改修事業の継続で水害のない安心して住める本宮に生まれ変わりました。

るために、激甚災害対策特別緊急事業の認定を受け、五年の歳月をかけた安達太良川護岸改修工事が完成し、町民の手で河川を愛護する「ラブリバー計画」、堤防周辺の緑化を進めるための「桜づつみ計画」、木製施設を設置する「木づくりふれあい施設計画」「ふるさとづくり事業による「みずいろ公園」や